

Windows XPのサポート完全終了が迫る中、単なる「入れ替え」ではないPC刷新提案には何が必要なのか？

2012年版 中堅・中小企業におけるPC環境の実態と展望レポート

PCの管理/運用における課題とその解決策に加え、「デスクトップ仮想化」や「スマートデバイスの影響」も網羅した一冊

Windows XPのサポート完全終了を来年に控えているにも関わらず、PC刷新のためのプランを未だ作成していない中堅・中小企業も少なくありません。その背景には「PCを新しくしても何も変わらず、負担が生じるだけ」という意識があります。ですが、新しいWindows OSが持つ機能をフル活用したり、デスクトップ仮想化といった新たな形態へとシフトすることで、長い間抱えていた課題を効果的に解決できることも少なくありません。本レポートではPC刷新を単なる「入れ替え」ではなく、ユーザ企業にとって意義あるものとするためには何が必要か？を実際の調査データを元に詳しく述べています。

調査対象とサンプル属性

本レポートは実施時期やサンプル数の異なる二つの調査から構成されている。以下ではそれぞれを「C系列」「D系列」と記載する。

対象企業年商：

[C系列]

5億円以上～50億円未満 / 50億円以上～100億円未満 / 100億円以上～300億円未満 / 300億円以上～500億円未満 / 500億円以上～1000億円未満 / 1000億円以上

[D系列]

5億円未満 / 5億円以上～50億円未満 / 50億円以上～100億円未満 / 100億円以上～300億円未満 / 300億円以上～500億円未満

対象職責： 以下いずれかの権限を持つ社員

[C系列]

- ・情報システムの導入/構築/運用/管理における意思決定権を持ち、経営にも直接関与する
- ・情報システムの導入/構築/運用/管理における意思決定権を持つが、経営には直接関与しない
- ・情報システムの導入/構築/運用/管理の計画を立案し、上層部の意思決定を仰ぐ
- ・情報システムの導入/構築/運用/管理における実作業を担当する

[D系列]

- ・企業の経営に関わる立場であり、IT関連投資の決裁を下す立場
- ・企業の経営に関わる立場であるが、IT関連投資の決裁には直接関わらない立場
- ・ITの導入/選定/運用作業に関わり、社内の経営層に対する提案も行う立場
- ・ITの導入/選定/運用作業に関わるが、社内の経営層に対する提案は行わない立場

対象業種：

[C系列、D系列共通]

組立製造業 / 加工製造業 / 流通業 / 建設業 / 卸売業 / 小売業 / IT関連サービス業 / サービス業(IT以外) / その他

対象所在地：

[C系列、D系列共通]

北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 北陸地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州・沖縄地方

従業員数：

[C系列]

10人未満 / 10人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1000人未満 / 1000人以上～3000人未満 / 3000人以上～5000人未満 / 5000人以上

[D系列]

20人未満 / 20人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1000人未満 / 1000人以上～3000人未満 / 3000人以上～5000人未満 / 5000人以上

サンプル数：

[C系列] 1000社(有効回答件数)

[D系列] 754社(有効回答件数)

調査実施時期：[C系列] 2012年1月～2月

[D系列] 2012年11月

[C系列設問]

<<導入済みPCに関する設問 (C1系列)>>

[C1-*]という項番を持つ設問は導入済みのPCに関する活用実態や課題を尋ねたものである。

これらの設問群を「C1系列」と呼ぶ。C1系列の設問は以下の通りである。

- C1-1.導入済みのPC台数
- C1-2.導入済みPCの用途(3つまで)
- C1-3.導入済みPCの筐体(いくつでも)
- C1-4.導入済みPCのOS(いくつでも)
- C1-5.導入済みPCのOS購入/導入方法(いくつでも)
- C1-6.導入済みPCのベンダ名(いくつでも)
- C1-7.デスクトップ環境(OS)やアプリケーションの管理方法(いくつでも)
- C1-8.導入済みPCの購入先(いくつでも)
- C1-9.PC導入の基本方針
- C1-10.PC管理の課題(いくつでも)

<<導入予定PCに関する設問 (C2系列)>>

[C2-*]という項番を持つ設問は今後の導入を予定しているPCに関する導入形態などを尋ねたものである。

これらの設問群を「C2系列」と呼ぶ。C2系列の設問は以下の通りである。

- C2-1.PCの導入予定時期
- C2-2.導入予定PC台数
- C2-3.導入予定PCの用途(3つまで)
- C2-4.導入予定PCの筐体(いくつでも)
- C2-5.導入予定PCのOS(いくつでも)
- C2-6.導入予定PCのベンダ名(いくつでも)
- C2-7.導入予定PCの購入先(いくつでも)
- C2-8.導入予定PCの購入金額(1台当たり)
- C2-9.導入予定PCの選定者
- C2-10.導入予定PCの決定者
- C2-11.PCの新規導入や刷新を行う理由(3つまで)

<<PC関連ソリューションの活用意向に関する設問 (C3系列)>>

[C3-*]という項番を持つ設問はPCに関連した様々なソリューションの活用意向などについて尋ねたものである。

これらの設問群を「C3系列」と呼ぶ。C3系列の設問は以下の通りである。

- C3-1.今後活用したいと考えるPC関連ソリューション(3つまで)
- C3-2-1.「自宅や社外でも自社内と同じOSやアプリケーションを利用できるようにする」の実現手段
- C3-2-2.「PC内のデータを安全な場所へ自動保存する」の実現手段
- C3-2-3.「PCを紛失した場合でもデータが漏洩しないようにする」の実現手段
- C3-2-4.「複数のPCに一括してアプリケーションなどのインストール作業を行う」の実現手段
- C3-2-5.「複数台のPCの各種設定(電源管理やセキュリティなど)を一括して行う」の実現手段
- C3-2-6.「ファイル交換アプリケーションなどの不正アプリケーション利用を禁止する」の実現手段
- C3-2-7.「セキュリティが不十分なPCによる社内ネットワーク接続を禁止する」の実現手段
- C3-2-8.「複数台のPCの状況(利用アプリケーションなど)を一括して把握する」の実現手段
- C3-2-9.「PCの操作内容を記録して監視/保存する」の実現手段
- C3-2-10.「その他」の実現手段

次頁へ続く

[D系列設問(1/2)]

<<PCの刷新に関する設問 (D1系列)>>

ここでの「刷新」とはハードウェアの完全な入れ替えやOSのバージョンアップを指す。(PCのメモリ増強やキーボード/ディスプレイの交換やOSへのサービスパック適用などといった部分的な改変は含まない)[D1-*]という項番を持つ設問はこうしたPC刷新に関連する項目を尋ねたものである。

これらの設問群を「D1系列」と呼ぶ。D1系列の設問は以下の通りである。

- D1-1.PCの導入や刷新における役割(職責)
- D1-2.現在利用している最も主要なPCのOS
- D1-2S.現在利用している最も主要なPCのOS ※[D1-2S]は[D1-2]の選択肢をまとめたものである
- D1-3.現在利用している最も主要なPCのOS購入形態
- D1-4.PCのハードウェアまたはOSを刷新する予定の有無
- D1-5.PCのハードウェアまたはOSの刷新内容
- D1-6.PCのハードウェアまたはOSを刷新する理由(いくつでも)
- D1-7.PCのハードウェアまたはOSを刷新しない理由(いくつでも)
- D1-8.刷新する予定の最も主要なPCのOS
- D1-8S.刷新する予定の最も主要なPCのOS ※[D1-8S]は[D1-8]の選択肢をまとめたものである

<<Windows OSのエディションや機能に関する設問 (D2系列)>>

[D2-*]という項番を持つ設問はWindows OSのエディションや機能などに関連する事柄を尋ねたものである。

これらの設問群を「D2系列」と呼ぶ。D2系列設問は以下の通りである。

- D2-1.Windows Vista/Windows 7/Windows 8の「Enterprise」エディションの認知や利用意向
- D2-2.Windows Vista/Windows 7/Windows 8の「Enterprise」エディションを導入しない理由(いくつでも)
- D2-3-1.Windows OS機能の利用意向「Windowsドメインへの参加」
- D2-3-2.Windows OS機能の利用意向「アクションセンター」
- D2-3-3.Windows OS機能の利用意向「Windows Defender」
- D2-3-4.Windows OS機能の利用意向「AppLocker」
- D2-3-5.Windows OS機能の利用意向「BitLocker」
- D2-3-6.Windows OS機能の利用意向「BitLocker To Go」
- D2-3-7.Windows OS機能の利用意向「DirectAccess」
- D2-3-8.Windows OS機能の利用意向「BranchCache」
- D2-3-9.Windows OS機能の利用意向「Windows To Go」
- D2-3-10.Windows OS機能の利用意向「リモートデスクトップ」
- D2-3-11.Windows OS機能の利用意向「リフレッシュ」
- D2-3-12.Windows OS機能の利用意向「ファイル履歴」
- D2-3-13.Windows OS機能の利用意向「ライブラリ」
- D2-3-14.Windows OS機能の利用意向「タッチパネル対応」
- D2-3-15.Windows OS機能の利用意向「Windows XPMODE」
- D2-3-16.Windows OS機能の利用意向「Hyper-V」
- D2-4.「VL(ボリュームライセンス)」や「SA(ソフトウェアアシュアランス)」の認知や理解
- D2-5.「VL」や「SA」を利用しない理由(いくつでも)

<<スマートデバイスがPC導入に与える影響に関する設問 (D3系列)>>

[D3-*]という項番を持つ設問はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスが今後のPC導入にどういった影響を与えるかを尋ねたものである。これらの設問群を「D3系列」と呼ぶ。D3系列の設問は以下の通りである。

- D3-1.スマートフォンやタブレットの活用状況(企業での端末購入)
- D3-2.スマートフォンやタブレットの活用がPC導入に与える影響
- D3-3.「タブレットPC」の認知や活用意向

次頁へ続く

[D系列設問(2/2)]

<<デスクトップ仮想化に関する設問 (D4系列)>>

[D4-*]という項番を持つ設問ではデスクトップ仮想化の活用意向などについて尋ねている。ここではデスクトップ仮想化として以下のようなソリューションを選択肢として挙げている。

仮想PC型(VDI)：サーバを仮想化し、その上で複数のPC環境を動作させるもの
(例. シトリックスシステムズ「XenDesktop」「VDI-in-a-Box」、ウイエムウェア「VMwareView」など)

共有サービス型：サーバ上にアプリケーションを動作させ、それを複数のユーザで共有するもの
(例. シトリックスシステムズ「XenApp(旧: MetaFrame)」など)

1to1型リモートアクセス：社内に専用のルータなどを設置し、各PCを社外から遠隔操作するもの
(例. 日立ソリューションズ「DesktopDirect」など)

仮想PC型のDaaS：仮想PC型VDIをSaaS形態で利用するもの
(例. NTTコミュニケーションズ「BizデスクトップPro」など)

共有サービス型のDaaS：画面転送型VDIをSaaS形態で利用するもの
(例. 日立システムズ「BusinessStage仮想デスクトップサービス」など)

1to1型リモートアクセスサービス：SaaS形態のサービスを介して各PCを社外から遠隔操作するもの
(例. オーシャンブリッジ「ISLOnline」など)

D4-1. 導入済みのデスクトップ仮想化関連ソリューション

D4-2. デスクトップ仮想化関連ソリューションを導入した理由(3つまで)

D4-3. 検討したが実際には導入しなかったデスクトップ仮想化関連ソリューション

D4-4. デスクトップ仮想化関連ソリューションを導入しなかった理由(3つまで)

価格とお申し込み方法

【価格】125,000円(税別)

【発刊日】2013年1月18日

【媒体】CD-ROM (分析サマリ: PDF形式、集計データ: Microsoft Excel形式)

【お申し込み方法】[弊社ホームページからの申し込み](http://www.norkresearch.co.jp)またはinform@norkresearch.co.jp宛にご連絡ください
本レポートのサンプル(調査報告リリース)は下記URLよりご覧いただけます。

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2012PC_usr_rel1.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2012PC_usr_rel2.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2012PC_usr_rel3.pdf

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2012PC_usr_rel4.pdf

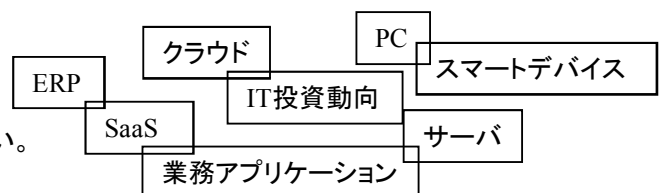
各種年刊調査レポートのご案内

ハードウェア、ソフトウェア、サービスなど様々なカテゴリを網羅した多数の年間調査レポートを発刊しています。
多くのIT企業様が中堅・中小企業市場をウオッチする有効なツールとして購読されています。

豊富な年間調査レポートを提供

年間調査レポートの一覧についてはこちらをご参照ください。

<http://www.norkresearch.co.jp/result/report.html>



NORK RESEARCH

株式会社 ノークリサーチ
調査設計、分析、執筆: 岩上由高
東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705
TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692

inform@norkresearch.co.jp <http://www.norkresearch.co.jp/>